

1月号

School Aid Japan Cambodia

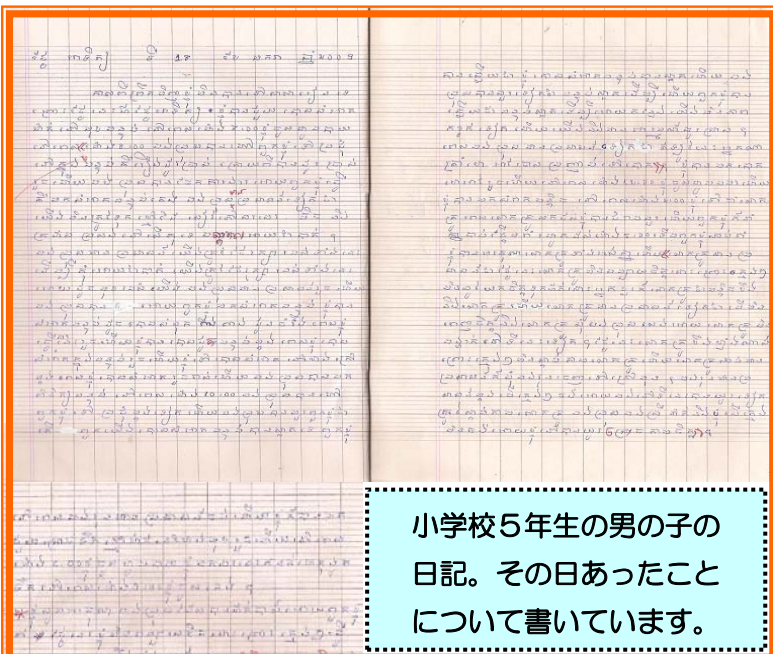
スクール・エイド・ジャパン・カンボジア



Dream通信

2009. 1. No.10

子どもたちの夢日記 ～低学年から高学年まで全員で取り組んでいます～



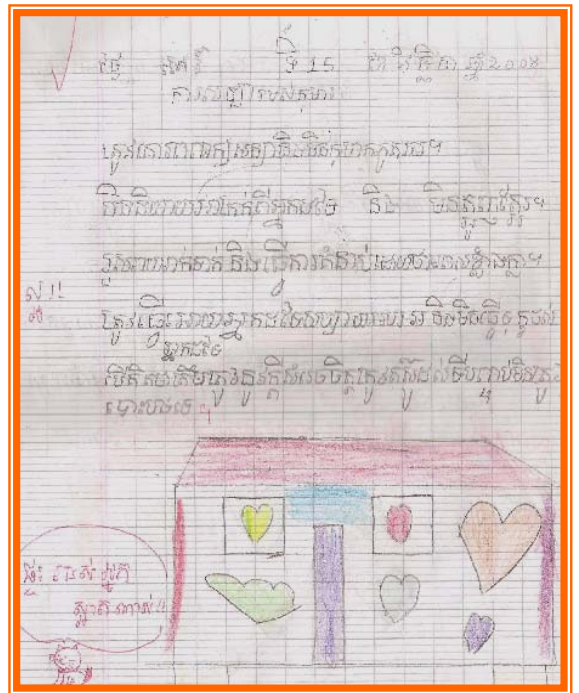
小学校5年生の男の子の日記。その日あったことについて書いています。

現在「夢追う子どもたちの家」では5歳から17歳までの49人が共同生活を送っています。子どもたちは毎日夕食の後に日記を書くことに取り組んでいます。目的は日々の出来事を振り返り反省することで明日からの生活に生かしていくためです。内容はその日の学校や園での出来事を記入します。子どもたちは学校で良い成績が取れて嬉しかったこと、友だちとバレーボールをして遊んで嬉しかったこと、先生に怒られたことや注意されたこと、園でのミーティングのことなどを書いて

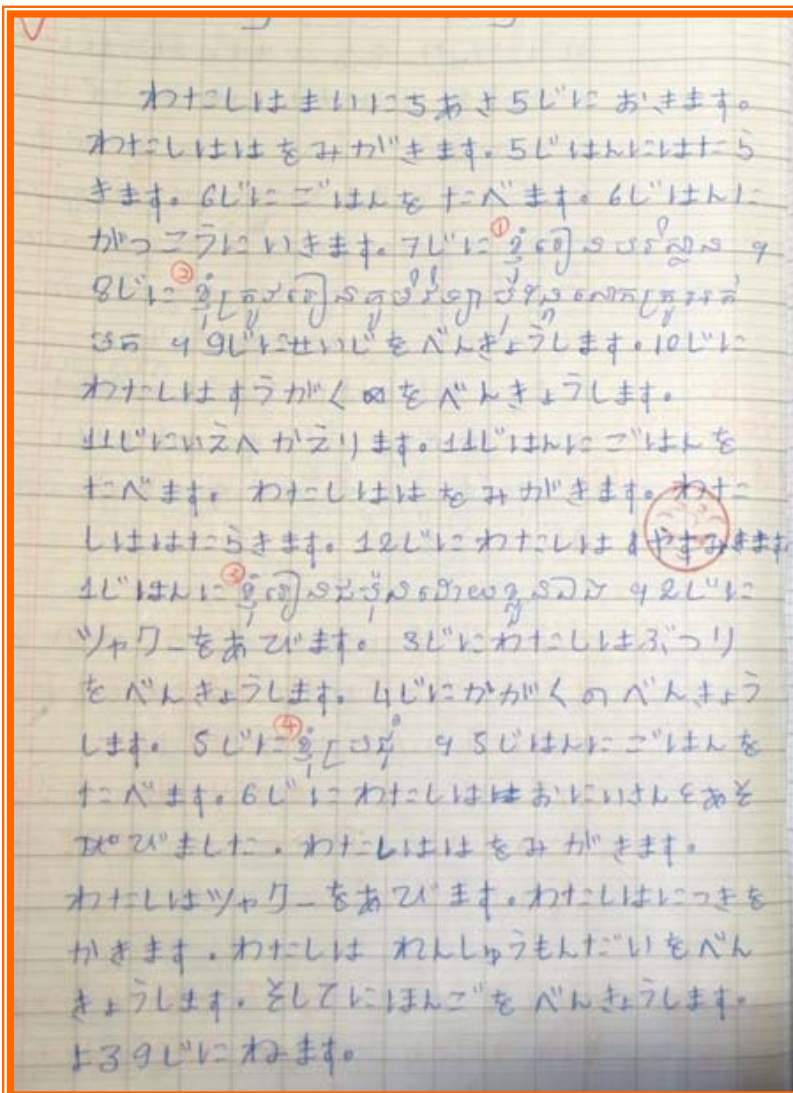
日本語訳

今日は日曜日だったので僕は学校は休みでした。朝の清掃で保母さんと男子部屋の前を掃除しました。その後朝ごはんを食べました。8時からお兄さん（園長先生）がミーティングをして、全員に新しい歯ブラシをくれました。その後園の清掃でそれぞれ自分たちの部屋を掃除するように言われました。お兄さんはえんぴつやボールペンやノートを机の上に使いっぱなしにしたり、図書室にわすれたりすると自分のものをなくすことになるかと話をしました。そして物を大切にするように話をしました。それから僕は部屋の掃除を始めました。部屋の中、くもの巣、壁、天井を掃除しました。部屋の中の掃除のあと、外側も掃除をしました。掃除が終わったあとに、10時からお話がありました。お兄さんは部屋がきれいになりましたかと尋ねました。僕たちはとてもきれいになりましたと答え、部屋を汚くすることは良くないことだと答えました。僕達は部屋がきれいだととても気持ちがいいです。ミーティングが終わって僕は服を洗いました。12時からごはんを食べて休みました。2時に踊りを教えてくれる先生が来ました。先生に挨拶をして踊りの練習が始まり5時まで練習をしました。僕たちは先生にありがとうございますと挨拶をしました。でも先生はうれしくないことがあったと言いました。それは僕たちが踊りの練習中にきちんと先生の言うことを聞かなかったり、勝手に出て行ったりしたからです。先生は私の言うことを聞きたくないなら、もう踊りを教えに園には来ないと言いました。職員の人も同じことを言いました。踊りの練習が終わったあとに、僕はコップを洗い、6時から夕ごはんを食べました。日記を書いた後に9時に寝ます。今日は踊りの先生をととても怒らせてしまい、かなしかったです。

います。入園したばかりの頃は、日記とはどういうものか分からず何を書いてよいか戸惑っていましたが、最近ではその日にあったことや、自分の気持ちについてなども書けるようになってきました。小学校2年生や3年生の低学年にはまだ読み書きが十分にできない子どもがいます。また入園したばかりの子どもも上手に文章を書くことができません。日記を書くことが難しい子どもには園の「子どもたちへ約束」や「宣言文」を書かせています。低学年の子どもには文字を丁寧に書く練習も兼ねています。子どものなかには絵本などを見ながら、自分の日記に乗り物や動物や自然の絵を書く子どももいます。現在小学校4年生から中学校2年生までの子ども7人が、毎日夜6時30分から45分間、日本人職員の指導のもと日本語の授業を受けています※1。中学生2年生の女の子は将来、NGOや国際機関で働くことを目標に日々勉強をしています。そのため外国語の勉強にもとても熱心に取り組ん



小学2年生の子どもの日記です。
絵を日記に描く子どももいます。



中学校2年生の女の子の日記です。
日本語で日記を書くことに挑戦しています。

でいます。日記にも授業で習った日本語や自分で辞書を調べた単語使いながら書いています。熱心に取り組んでいるため、上達もとても早いです。

日記は毎日朝食前に提出をします。職員が誤字や脱字をチェックする他に、文章を乱暴に書いている子どもには丁寧に書くように指導し、またきれいにノートを使っているかも確認します。日々の出来事に対してきちんと自分の考えを書くことができている子どもには職員がフィードバックをしています。確認が終わった日記は夕食前に子どもたちへ返却され、今日の出来事を書いて翌朝に提出をします。

日記は子どもと職員の大切なコミュニケーションの1つですので、今後も園では継続して取り組んでいきたいと思っています。

(※1) 勉強が得意でない子どもには、母国語や学校で習う科目を優先して教えているため、日本語の授業は見合わせています。